



モネの池

遊び、鮎釣り等を楽しむため、他県からも多くの観光客が訪れます。近年ではモネの池と称される

岐阜森林管理署板取川治山事業所
板取川技術官 加藤 里実
地は、福井県と岐阜県の県境、岐阜県関市板取にあり、清流として有名な長良川の支流、板取川の最上流域に位置します。

板取川の周辺には多くのキャンプ場があり、河原でのバーベキューや水遊び、鮎釣り等を楽しむため、他県からも多くの観光客が訪れます。近年ではモネの池と称される

が発生したことで大量の土砂が流出しました。観光業や鮎の生育等への影響が懸念され地元から要請を受けたことから、平成十六年より民有林直轄治山事業を実施することとなりました。

さらに、平成三十年の七月豪雨により当事業地と隣接する滝波谷地区で大規模な山腹崩壊、土砂流出が発生し、濁水等による被害が発生しました。早急に崩壊地や荒廃渓流の復旧対策に着手する必要があり、地元や岐阜県からの強い要請を受けたため、令和元年度より滝波谷地区が区域追加されました。近年ではモネの池

の台風六号通過に伴う集中豪雨により大規模な山腹崩壊や渓岸浸食が発生したことで大量の土砂が流出しました。観光業や鮎の生育等への影響が懸念され地元から要請を受けたことから、平成十六年より民有林直轄治山事業を実施することとなりました。

現在、滝波谷地区では、大規模崩壊地の復旧に向け、既設作業道の林道規格への改良及び新設工事により工事用道路の整備を進めています。また、崩壊地源頭部においては、今後の対策を検討するためボーリング調査を行っています。



滝波谷の山腹崩壊



工事現場の立会確認中の筆者

■未来の担い手へのメッセージ

近年、豪雨災害が頻発している中、治山業務は大切な役割を担っています。治山は難しい業務との印象を持つかもしれませんのが大変やりがいのある業務です。是非興味を持つてくださいと幸いです。

りも民有林直轄治山事業という制度の意義を実感しました。地元の方の「不安を感じていたが直轄治山事業として早期に取り組んでもらえることで安心した、感謝する。」という言葉が心に残っています。今後とも工事を実行していく重要性を再認識し、引き続き取り組んでいきたいと思っています。